

## 圏外のアンテナ

[無人決済1号店]の巻

東北新幹線が東京駅のホームに着くと、ふつうは「北のりかえ口」か「南のりかえ口」につづく階段を降りて行くだろう。

だが実は、秘密の通路が、人知れず口を開けている。ホームの最も後方に「日本橋口」の地味な階段がある。ここを降りて「サピアタワー」の地下に抜けると、人混みに飲み込まれずに、東京メトロに乗り換えられるのだ。

「サピアタワー」は、2007年竣工、地上35階建。ホテルや病院、大学やオフィスが入った超高層ビルだ。1階には小さなファミマ!!がある。

4月の初旬、いつも閑散としているこのコンビニがファミリーマートの無人決済1号店になったというニュースを聞いて、わたしは少し興奮した。無人決済店とは、無人というくらいだから店員が姿を見せない。お客がどの商品を手にしたかは、天井のカメラと棚のセンサーが感知して、自動的にレジに表示する。何とも未来的なシステムだ。

よく前を歩いていた店で、このような実験というか事件が始まったことを知って、わたしもさっそく現場に急行。入店時の「いらっしゃいませ〜」という声は、もちろん合成音声である。

だが、店の中を見ているうちに、いつのまにか挙動不審に。48台ものカメラに見張られているという自意識で、頬がピクつき、右足と右手が同時に前に出る。思わず万引きをしまいそうなチグハグ感…。ごめんなさい。わたしが犯人です！

あれこれ迷いながら、結局わたしが手にしたのは、のど飴いっこだけ。出口のレジの前に立つと、すでにディスプレイには「のど飴1つ」と表示されていた。カードをタッチして、すぐに決済完了。パタンとゲートが開放。気づくとなぜか脇汗がじっとり…。信じてください。わたしは犯人じゃありませんっ！

これからも、このスリルと芝居気っを味わいに、このファミマ!!に通ってしまいそうな予感がする。

=2021年5月14日掲載=



無人決済店を、遠巻きに見守る人たち